

生物多様性横浜行動計画（ヨコハマプラン） 具体的取組実績一覧

【目標】は2017（H29）年度末または2014～2017（H26～H29）年度の4か年の目標値を記載（各方針）

■方針1 ～普及啓発～

(1) 人づくりと場づくりの推進

①普及啓発

項目	取組名	目標	2015年度の取組実績例
1	身近な自然環境の広報	推進	・イベントや市のWebサイトを活用し、市民の森、公園、水辺拠点、農地等の魅力をPR ・知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2015の開催（5～6月）
2	環境行動の実践に向けた 広報・啓発 [重点アビール1]	推進	知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーン2015の開催（5～6月）
3	生物多様性に配慮した 消費行動の啓発 [重点アビール1]	推進	環境教育出前講座「生物多様性でYES!」や、イベントの場を活用し、地産地消を含む生物多様性に配慮した消費行動を推進
4	「横浜つながりの森」における エコツーリズム [重点アビール3]	推進	・各主要施設において、「横浜つながりの森」散策マップ及び横浜つながりの森紹介パネルによりPRを実施 ・ハイキングコース利用にあたってのルール・マナーの検討、関係団体説明会の開催（9月）
5	体験フィールドの活性化 ～横浜の森プロモーション～ [重点アビール3]	推進	・区民祭りや金沢動物園春まつりで横浜つながりの森をPR ・地域情報紙等を活用した広報を展開
6	森の楽しみづくり	イベント実施及び広報活動 144回	イベント等の実施 132回
7	森に関する情報発信	・ガイドマップの作成：新規に指定された市民の森等を対象に作成 ・ウェルカムセンターの運営：推進	・市民の森・ふれあいの樹林ガイドマップ作成 2地域 ・ウェルカムセンター運営（推進）
8	市民の守りたい、伝えたい 谷戸環境の広報 [重点アビール1]	推進	市のWebサイトで市内の谷戸環境のPRを実施
9	庁内横断による 谷戸環境の積極的活用 [重点アビール1]	推進	市のWebサイトで谷戸環境活用のPRを実施

②人材育成

10	生物多様性でYES！ [重点アビール1]	参加者数 10,500人/年	小学校や放課後児童育成施設に受講団体を募集：プログラム数 46、受講者数 8,895人
11	環境教育に携わる 指導者への支援 [重点アビール1]	推進	講師を対象としたスキルアップ研修の実施 1回
12	環境教育に先進的に取り組む 学校への支援	推進	・4校を環境教育実践推進校として指定 ・「地域の自然」「校内環境」「都市部の取組」「海」などのテーマに沿った実践を展開し、エコフォーラム等で取組を発信（H17～H27の累計60校）
13	森づくりを担う人材の育成	推進	・森づくり活動団体向け等の研修の実施 14回 ・森づくり活動団体と森づくりボランティア登録者が一緒に学ぶ研修会を開催 ・「よこはまの森ニュースレター」の発行 4回

③団体の支援

14	活動団体への支援 [重点アビール1]	推進	・環境保全活動団体助成金を交付 1団体 ・横浜環境活動賞受賞者を審査の上決定 17個人・団体・企業
15	森づくり活動団体への支援	・森づくり活動団体への支援：延べ40団体 ・公園内のまとまった樹林で活動する公園愛護会への支援：延べ40団体	・森づくり活動団体への支援 23団体 ・公園内のまとまった樹林で活動する公園愛護会への支援 9団体

④場づくり

16	魅力ある公園の新設・再整備	新設・再整備公園数 延べ320か所	新設・再整備 74か所
17	地産地消にふれる機会の拡大	・直売所等の支援：42件 ・青空市運営支援：20件	・直売所等の支援 11件 ・青空市の運営支援 5件
18	様々な市民ニーズに合わせた 農園の開設	・市民農園の開設 4.8ha ・収穫体験農園の開設 10.0ha ・農園付公園の整備 6.7ha	・市民農園の開設 2.2ha ・収穫体験農園の開設 1.0ha ・農園付公園の整備 1.4ha
19	市民が農を楽しむ支援する取組の 推進	・農体験教室などの実施 400回 ・農ある横浜・あぐりツアーの開催 16回 ・農のある地域づくり協定の新規締結 3件 ・農体験講座の開催 20回	・横浜ふるさと村、恵みの里での体験教室の実施 89回 ・農ある横浜・あぐりツアーの開催 3回 ・農のある地域づくり協定の新規締結 2件 ・家族で学ぶ農体験講座の開催 5回

(2) 様々な主体や組織間の連携による施策の展開

20	多岐にわたる分野との コラボレーションの推進 [重点アピール1]	推進	・スポーツチームと協力し、環境活動に関する普及啓発の実施（5～9月） ・他分野が行うイベント等への後援等の実施
21	連携・交流のプラットフォームづくり [重点アピール1]	推進	市の業務研究・改善事例発表会において、生物多様性に関する取組を発表・周知
22	森を支えている活動団体の つながりの強化 [重点アピール3]	研修など交流の場を推進	ハイキングコース利用にあたってのルール・マナーの検討、関係団体説明会の開催（9月）
23	「横浜つながりの森」の調整機能 の充実・体制の強化を推進 [重点アピール3]	推進	Webサイトへの各施設の情報掲載による情報の一元化
24	自然体験活動の推進	推進	・市民団体と連携した青少年向け自然社会体験プログラムの実施 893人 ・自然・社会資源等を活用した体験プログラムの実施 877人

(3) 外来種に関する普及啓発

25	外来種に関する普及啓発	推進	・市主催のイベントで剥製やパネルの展示、リーフレットの配布、ワークショップ等により普及啓発を実施 ・市職員研修で外来生物に関する啓発を実施（8月）
----	-------------	----	--

(4) 動物園等での環境教育

26	動物園等における環境教育	環境教育事業数330件／年	・動物園での環境教育事業 349件 ・繁殖センターへの一般施設見学 6件 ・大学、教育機関等との連携事業 14件 ・繁殖センターで実施した科学スクール 3件、講演会 2件
----	--------------	---------------	--

方針2 ～保全・再生・創造～**(1) 保全を中心とした取組****① 緑や農地の保全と維持管理**

27	水田の保全	・水田の保全承認 123ha ・水源の確保8か所	・水田の保全承認 120.1ha（新規承認2.5ha） ・水源の確保 1か所
28	農景観を良好に維持する取組の 支援	・良好に維持されている農地の面積 680ha ※2014～2018年度まで ・水路機能の維持 4地区 ・土砂流出対策 4か所／年	・良好に維持されている農地の面積 718ha ・水路機能の維持 2地区 ・土砂流出対策 10か所
29	瀬上池の生物多様性を守る ～瀬上池の未来づくり～ [重点アピール3]	推進	・瀬上市民の森保全管理計画（瀬上池集水域）の策定 ・瀬上池でかいぼりを実施し外来種を駆除 ・瀬上池の環境改善整備工事を実施し、浚渫や沈砂池を整備
30	緑地保全制度による 指定の拡大・市による買取り	緑地保全制度による指定400ha	・緑地保全制度による指定の拡大 102.5ha ・緑地保全制度による買取り 24.1ha
31	森づくりガイドライン等を活用した 森の育成	・ガイドライン等を活用した維持管理 推進 ・保全管理計画策定 樹林地12か 所、公園6か所	・森づくりガイドライン等を活用した維持管理： 樹林地121か所、公園14か所 ・保全管理計画の策定： 樹林地3か所、公園3か所
32	生物多様性に配慮した 防災性・安全性の向上	法面の整備8か所	法面の整備： 整備3か所、施工中2か所

② 希少野生動物の保護・繁殖

33	国際的な希少動物の保全の取組 と国際貢献	推進	・カムリシロムク保護事業において、インドネシア共和国と共同事業を実施 ・世界動物園水族館協会総会において、インドネシア関係者からカムリシロムク保護事業の講演発表（10月） ・繁殖センターからインドネシアへカムリシロムク20羽を送致（3月）
34	横浜市及び国内に生息する希少 動物の保全の取組	推進	・市内産カエル2種を導入し飼育繁殖技術の研究 ・ニホンライチョウ保全のため、近縁種スバルバルライチョウ飼育繁殖技術確立のための共同研究、生息地での調査実施 ・国内産希少種であるミゾゴイの繁殖成功 2羽（日本初）
35	希少動物の保全に関する研究の 推進	繁殖センターが行う研究件数40件	・国立環境研究所・日本動物園水族館協会・大学等と市立3動物園との共同研究を実施 38件 ・市立3動物園との共同研究 24件 ・市立3動物園以外の調査研究 9件 ・市立3動物園飼育動物のDNA解析による雌雄判別を実施 鳥類15種59個体 ・外部口頭・ポスター発表により研究成果を情報発信 6件
36	身近な動物・傷病鳥獣に関する啓 発の推進	講座回数20回	来園者を対象とした「エコ森教室」の開催 3回
37	横浜に生息する生き物体験施設 の整備 [重点アピール3]	推進	「日本の森」ゾーンの実施設計のための測量を実施
38	指定・登録文化財の保護育成	推進	・国指定天然記念物ミヤコナゴ保護増殖事業及び生息環境調査事業の実施 ・ゲンジボタル生息地の環境整備の実施

③外来種への対策

39	アライグマ・タイワンリスによる被害への対策	推進	・アライグマ捕獲数 285頭 ・タイワンリス捕獲数 170頭 ・捕獲檻の補充 アライグマ用17台
----	-----------------------	----	--

(2) 再生を中心とした取組

40	生物多様性に配慮した公園整備	推進	新設・再整備公園整備において、湧水や池の生物多様性に配慮した設計・整備を実施
41	公園における順応的管理の推進	推進	森づくりガイドラインを活用した樹林地や公園の維持管理を実施し、生物多様性の保全・向上
42	旧小柴貯油施設跡地の公園活用 [重点アビール3]	工事・着手	公園の基本設計を進めるとともに、環境影響評価手続として自然環境調査を実施
43	生物多様性に配慮した 河川・雨水調整池の管理	実施	・関係区局による雨水調整池ビオトープ維持管理プロジェクトを継続 ・雨水調整池ビオトープ維持管理の研修会の開催 ・雨水調整池ビオトープ担当者会議の開催 ・近隣の小学生を対象とした生き物観察会の実施 ・維持管理事例集の作成
44	水辺拠点の整備	水辺拠点の整備3か所	水辺拠点整備 1か所
45	多自然川づくり	推進	多自然型落差工の整備
46	多様な生き物を育む場づくり (アユが遡上する川づくり) [重点アビール4]	帷子川モデルプランの策定	・「アユが遡上する帷子川アクションプラン」の策定 ・アユの遡上及び流れ分布状況調査の実施
47	宅地等における雨水浸透、貯留の 推進	・雨水貯留タンク設置への助成 300個/年 ・宅内雨水浸透ます設置への助成 50個/年	・雨水貯留タンク設置への助成 205個 ・宅内雨水浸透ます設置への助成 19個
48	公園愛護会・水辺愛護会との連携	・公園愛護会の活動支援2,457団体 ・水辺愛護会の活動距離60,198m	・公園愛護会の活動支援 2,450団体 ・水辺愛護会の活動距離 59,418m (94団体)、交流会の開催、特別表彰及び永年表彰の実施
49	街路樹における樹種の配慮等	高木130,000本	実施 高木130,000本

(3) 創造を中心とした取組

50	地域緑のまちづくり	46地区で推進 ※2014～2018年度まで	4地区の団体と新たに協定を締結し、計26地区で緑化整備や地域緑化活動に助成
51	都心臨海部の緑花による 賑わいづくり	推進	・みなとみらい21 地区から山下地区を中心とした4か所で、緑のネットワーク形成を推進 ・山下公園、港の見える丘公園、グランモール公園、新港中央広場において、花壇の良好な管理を推進
52	民有地における緑化の助成	緑化の助成65件 ※2014～2018年度まで	・個人宅、集合住宅の屋上緑化への助成 3件 ・地面緑化への助成 2件
53	保育園・幼稚園・小中学校での 緑の創出	・緑の創出100か所 ※2014～2018年度まで ・芝生等の維持管理の推進	・校庭・園庭の芝生化、ビオトープや花壇、樹木による植栽など、子どもたちが多くの時間を過ごす場 所で、施設のニーズに合わせた多様な緑の創出 32か所 ・芝生や植栽の維持管理について、費用の一部支援と合わせ、芝生の維持管理についての技術講習 会と専門家による訪問指導を実施
54	公共施設・公有地での 緑の創出・管理	・緑の創出58件 ※2014～2018年度まで ・緑の維持管理の推進	・南区や金沢区の庁舎など、市民利用施設等を新たに緑化 22か所 ・各施設において適切な維持管理を実施
55	公有地化による シンボリックな緑の創出	・緑の創出5か所 ※2014～2018年度まで	1か所のシンボリックな緑の創出予定地において、既存建物の解体設計を実施

■方針3 ～しくみづくり～

(1) 生物調査データの継続的な蓄積と活用

56	生物調査データの一元化 (データバンクの構築) [重点アビール2]	データバンクの構築	・環境科学研究所が保有する生物調査データの更新、一部公開、依頼内容に応じたデータ提供 ・環境創造局内で保有する生物調査報告書を庁内で共有 ・産学官の連携により生物情報の取得方法や情報解析方法について検討、意見交換
57	市民参加の生き物調査の推進 [重点アビール2]	推進	小学生対象アンケート調査 こども「いきいき」生き物調査を実施 約170校、12,000人超の児童参加
58	生物生息状況モニタリング調査 [重点アビール2]	継続実施	・境川流域3か所における陸域生物調査を実施 ・1973年以来、14回目となる河川生物相調査の夏季調査を実施

(2) 地域特性に応じた保全等の検討

59	地域特性に応じた保全等の検討 [重点アビール5]	推進	・産学民官連携による研究会において、生物多様性の評価手法について検討
----	-----------------------------	----	------------------------------------

(3) 市役所による生物多様性の取組の推進

60	横浜市ISO環境マネジメントシステムへの反映	推進	・区局統括本部ごとに環境行動目標を策定し、職員に環境に配慮した行動を推進 ・総合環境研修を実施し、市職員に環境意識の啓発を実施 ・自己チェック及びヒアリングによる内部監査を実施
----	------------------------	----	--

■方針4 ～まちづくりと経済活動～

(1)生物多様性に貢献するまちづくりの推進

61	エキサイトよこはま22における環境取組の推進	推進	・まちづくりガイドラインを改定し、CO2排出原単位の見直しを実施 ・東口再開発予定地区におけるエネルギーの面的利用に関する検討
62	みなとみらい2050プロジェクトの推進	推進	環境未来都市・横浜にふさわしい取組について、みなとみらい21地区を中心に5つの公民連携のプロジェクトチームにより推進
63	みなとみらい21中央地区の公共空間への緑化推進	推進	みなとみらい4号線の緑化推進
64	京浜臨海部の海づくり [重点アピール4]	推進	人工干潟の流出により、干潟の設置が困難であることが判明
65	都心臨海部の海づくり [重点アピール4]	推進	・山下公園前海域で、浅場の造成などの環境整備を民間企業との共同研究により実施 ・世界トリアスロン大会のEXPO等に参加し、水質浄化等の事業のPRを実施 ・汽道護岸沿いの水域において、アマモの植え付け方法の変更を実施、植え付け箇所数の増加
66	金沢区野島海岸周辺の海づくり [重点アピール4]	推進	・野島海岸で市民団体と連携したイベントを開催し、海域の生物による水質浄化のPR等を実施 ・市民活動団体と協働した体験プログラムの実施：参加者数 423人 ・野島青少年研修センターでの自然体験プログラムの提供：参加者数 6,675人
67	金沢区白帆地区の海づくり [重点アピール4]	推進	アマモの播種、花枝採取、自然学習イベントの実施
68	横浜ブルーカーボン事業の推進	推進	・海洋資源を活用した地球温暖化対策の調査・検討 ・カーボン・オフセット、クレジットスキームを検討し、カーボン・オフセットの社会実験を実施 ・事業の広報や、環境啓発イベントを開催

(2)企業による社会参加の拡大と生物多様性に貢献する経済活動の支援

69	企業の環境行動の広報 [重点アピール1]	推進	横浜環境活動賞受賞企業の取組についてパネル展示による広報を実施
70	企業とのコミュニケーション	推進	・企業向け、生物多様性の取組を進めるためのパンフレットを市Webサイトに掲載 ・企業向けセミナーに参加し、生物多様性の取組について講演（12月） ・横浜市環境保全協議会、横浜商工会議所、国連WFP協会と連携し、「こども『エコ活。』大作戦！2015」を実施
71	産学民官連携による共同研究	推進	産学民官連携による研究会により、データバンクの構築や生物多様性の評価手法などについて検討
72	市民や企業等との連携 (地産地消の推進)	企業等との連携: 50件 ※2014～2018年度まで	企業等との連携 8件